第１７回アイディア展 in 富山　報告

2019/12/12

『第 17 回アイディア展 in 富山』が令和元年年 11 月 30 日（土）富山大学総合教育等の多目的ホールやクリエーション・ルームを中心にして長崎大学・新潟大学・富山大学の各工学部が主催となって行われた.

金沢大学の喜成先生の講演「アイディアをかたちに―大学院生が考案した結索機―」の後，富山大学から 15 作品，新潟大学から 11 作品，長崎大学からの 2 作品の合計 28 作品の展示と，説明発表があった. コンテスの結果は学生や教職員による投票により，最優秀賞は長崎大学「QR コードによる案内サービス Quest tourR の開発」，優秀賞は長崎大学「熱中症回避アプリの開発～熱中症を回避して野球に熱中しよう！～」，敢闘賞は新潟大学「CANSAT プロジェクト」，特別賞に富山大学「セグウエイ　倒立振子」が選ばれた.

参加者へのいくつかの項目に対するアンケートの結果，学生の基礎力向上の感じ方３年前より高くなっている.　応用力に関しては向上したとする教職員に対し，学生はそのように感じていないようである. 他分野への興味の広がりに関しては学生および教職員とも３年前と高い状態を保っている. コミュニケーションやリーダーシップの向上は３年前と同様に教員が思っているほど学生は向上を感じていない. アイディア展への評価は学生も教職員も肯定的である. 参加者としては当然の結果と思われる. 総じて学生は自分の向上に関して厳しい見方をしているようである.

最優秀賞　「QR コードによる案内サービス」

喜成　金沢大学教授の講演

展示会場

コマ大戦

「汚泥炭から回収したリン酸」

表彰

講評

閉会の挨拶